

GSユアサ バッテリー

欧州車用バッテリー取扱説明書 補償書付

このたびは、「GS ユアサ バッテリー」をご購入いただき、誠にありがとうございます。
バッテリーを正しくお取り扱いいただくため、バッテリーをご使用になる前や、点検の前に、本取扱説明書やバッテリー本体の注意表示をよくお読みください。誤った取り扱いをすると、引火爆発、焼損、破損、液漏れ、車両損傷、失明ややけど、けがなどの原因となります。また、本取扱説明書はお読みいただいた後もお手元に大切に保管してください。尚、ご不明な点はご購入店または弊社にご相談ください。



目次	1. ご注意	①②③	6. インジケータ	⑩
	2. ご使用前に	④	7. 要項表	⑪
	3. バッテリーの交換方法	⑤⑥⑦	『故障かな?』と思ったら...	
	4. バッテリーの保守・点検方法	⑧	(よくあるご質問・お問合せ)	⑫
	5. バッテリーがあがったときには	⑨	○補償書／補償条件	

『リサイクルの推進にご協力をお願いいたします』

ご不要になった使用済みバッテリーは放置したり、一般ゴミと一緒に捨てたりしないでください。新しいバッテリーをご購入の販売店に引き取りをご依頼ください。



GYX-2 (WG)

1. ご注意 (必ずお守りください)

- 表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。
⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。
⚠ 注意	人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

⊘	禁止の行為を告げる絵表示です。
⚠	「注意喚起」を促す内容があることを告げる絵表示です。
!	行為を強制したり、指示したりする内容を告げる絵表示です。

⚠ 危険		
■説明書熟読 誤った取り扱いを すると、車両損傷、 失明ややけどの原因 となります。	■欧州車のエンジン始動 用以外に使用しない (EFB) ＜補償対象外＞ 漏液や焼損、引火 爆発の原因となり ます。	■欧州車のエンジン始動用、 ハイブリッド車の補機用 以外に使用しない (AGM) ＜補償対象外＞ 漏液や焼損、引火 爆発の原因となり ます。
■破裂、爆発注意 正しいご使用方法、 取り扱いメンテナ ンスなど取扱説明 書をよくお読みにな ってご使用くださ い。	■火気を近づけない バッテリーから水 素ガスが発生する ので引火爆発の原 因となります。	■バッテリー液 (希硫酸) 取り扱いに注意 失明ややけど、機 器腐食などの原因 となります。

1

2. ご使用前に

(1) バッテリーの用途

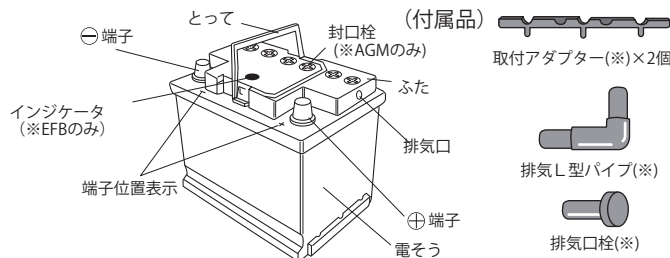
本バッテリーの用途は、欧州車のエンジン始動用・ハイブリッド車の補機用です。
上記用途以外で使用しないでください。取り扱いを誤ると液漏れ、焼損、引火爆発の原因となります。

(2) 保管について

- ・高温、高湿、雨露、直射日光を受けることがない、また有害なガス、液滴、粉塵発生、浸水、水没の恐れのない風通しのよい場所に保管し、横倒しの状態や落下しやすい場所では保管しないでください。
- ・こどもや取り扱い方法、危険を十分に理解しないものがふれることのない場所に保管してください。
- ・火気を近づけたり、ショートさせないでください。
- ・保管中にバッテリーは使用しなくても自然に放電し、使用できなくなることがあります。ご購入後は速やかに使用を開始してください。

(3) バッテリー各部の名称

※排気口の位置、とつての形状、本数はバッテリーの型式によって異なります。(バッテリーの一例)



※取付アダプター・排気L型パイプは取扱説明書に同封、排気口栓は電池の左右どちらかの排気口に装着されています。
※AGMバッテリーの場合、排気口栓の取り外しは出来ません。

4

⚠ 危険		
■目にバッテリー液が入った時の注意 直ちに多量の水で洗眼し、速やかに眼科医の治療を受けてください。	■バッテリー液が口に入るか、飲み込んだ時の処置 直ちに多量の水でうがいを繰り返し、多量の飲料水を飲み、速やかに医師の治療を受けてください。	■取り扱い時は保護メガネ、ゴム手袋を着用 バッテリー液により失明ややけどの原因となります。
■こども禁止 こどもや取り扱い方法、危険を十分に理解しないものにふれさせないでください。	■ブースターケーブルの使用は正しく行う 接続手順を誤ると引火爆発や火災の原因となります。	■バッテリー、バッテリー端子の分解、改造禁止 液漏れや火災、引火爆発の原因、失明、ややけどの原因となります。
■バッテリー端子に過大な力をかけない 端子の破損、液漏れの原因となります。	■金属工具などで⊕端子と⊖端子を接触(ショート)させない スパークにより引火爆発や火災の原因となります。	■静電気に注意 乾いた布などで清掃したり帯電した身体で取り扱うと静電気のスパークによる引火爆発の原因となります。
■ケーブルターミナルや取付金具は確実に固定する 取り付けがゆるい状態や腐食した状態で使用するとスパークにより火災、引火爆発の原因となります。	■充電器の使用は正しく行う 取り扱いを誤ると引火爆発や火災の原因となります。充電器の取扱説明書に従い正しく充電してください。	■充電器の接続ケーブルは正しく接続し、充電中は取り外さない スパークにより引火爆発や火災の原因となります。
■とつてを持って振り回したり投げたりしない 漏れたバッテリー液により失明、ややけどやけがの原因となります。	■密閉された場所で使用しない バッテリーから水素ガスが発生するので引火爆発の原因となります。	■使用済みバッテリーの取り扱いに注意 電気エネルギーが残っているため、こどもが触れる場所に保管しないでください。そのまま廃棄せず、ご購入店に引き取りをご依頼ください。

2

3. バッテリーの交換方法

- バッテリーの交換は、車両等の取扱説明書に従って自己責任のもとで行ってください。
- バッテリーの交換時にラジオ、時計、カーナビなどの電装品及びコンピューターのメモリのバックアップが必要かどうかは車両等の取扱説明書で事前に確認してください。
- 車両に2個のバッテリーが搭載されている場合は、搭載されているバッテリー2個を同時に同一型式、同一履歴のバッテリーと取り替えてください。異なるものを用いると異常な挙動を生じる原因となります。

(1) 古いバッテリーの取り外し方

- ①エンジンを止め、キーを抜く、もしくはパワースイッチをOFFモードにしてハイブリッドシステムを停止する。
※ライト等のスイッチはOFF (切) にしてください。
- ②車両から一括排気チューブが接続されている場合、チューブを付けたまま排気L型パイプをバッテリーから取り外す。
- ③先に、アース側 (一般的には⊖側) ケーブルを、次に⊕側の順でケーブルターミナルを外す。
※ケーブルターミナルを外す時は、まっすぐ上に引き上げてください。



- ④取付金具を外し、バッテリーを両手でしっかり持って取り外す。(ケーブルターミナルが汚れている場合はワイヤーブラシ、サンドペーパー等で清掃することをおすすめします。)

5

⚠ 警告

■バッテリーの交換は正しい順序で行う 順序を誤ると引火爆発の原因となります (詳細はP 5～7を参照ください)。	■交換・点検は車両のキーを抜き、または「パワー」スイッチをOFFモードにし、ライト等のスイッチをオフ (切) にする 引火爆発の原因となります。	■ケーブルの取り付けは⊕と⊖を逆にしない 電子部品の破損、焼損や火災の原因となります (詳細はP 5～6を参照ください)。
■充電時の注意 要項表 (P11) の普通充電電流以上で充電しないでください。(急速充電禁止) 充電直後の取り付け時はスパーク、火気に注意してください。引火爆発の原因となります。詳細は充電器の取扱書に従ってください。	■皮膚・衣服にバッテリー液が付着した時の処置 直ちに多量の水で洗い流し、石鹸で十分に洗ってください。ややけど、衣服の損傷の原因となります。	■電気機器の直接接続禁止 配線が焼損し火災の原因となります。
■異臭、液漏れ、変形した状態で使用しない 破損や液漏れによる車両損傷の原因となります。	■排気口をふさがない 破裂の原因となります (詳細はP 4 ②-(3)、バッテリー各部の名称を参照ください)。	■ふた、封口栓を外さない 液漏れや火災、引火爆発の原因、失明、ややけどの原因となります。

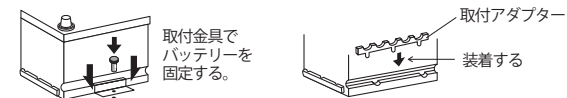
⚠ 注意

■バッテリーは重量物 取り扱い注意 横倒し、落下などによるけがや液漏れの原因となります。	■AGMバッテリーはエンジンルームに搭載しない エンジンルームの熱によりバッテリーの性能や寿命を著しく低下させる原因となります。	■使用温度範囲-15℃～ 50℃ (短時間使用は-30℃～ 60℃) で使用する 使用温度範囲以外では凍結や過熱により破損や変形の原因となります。
--	---	--

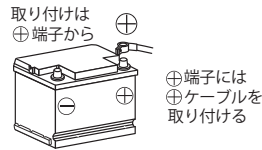
3

(2) 新しいバッテリーの取り付け方

- ①取り付け前に、車両に合ったバッテリーであることを確認する。
- ②新しいバッテリーを両手でしっかりと持って水平に設置し、取付金具ががたつかないようにしっかりと取り付ける。
※取り付けの時に⊕⊖の位置を確認してください。
※バッテリー下部形状は2種類あります (P11参照)。
必要に応じて下図のように取付アダプターを装着してください。
※取付金具を締めすぎるとバッテリーがこわれたり、端子が変形することがあります。



- ③先にバッテリーの⊕端子に⊕ケーブルターミナルを、次に⊖端子に⊖ケーブルターミナルを取り付ける。
※端子カバーがついている車両は端子カバーを元通りに取り付けてください。
- ④エンジンの始動前、もしくはハイブリッドシステム起動前にケーブルターミナルや取付金具のゆるみがないか確認する。
※工具等をエンジンルーム内や車室内・トランクルームに置き忘れないようにしてください。



6

(3) 一括排気チューブおよび排気口栓の取り付け

バッテリーを車室内やトランクルームに搭載する車両の場合、車両に一括排気チューブが付いている場合は必ず実施してください。

①排気Ｌ型パイプと一括排気チューブがしっかり接続されていることを確認し、パイプのもう一方の先端をバッテリーの排気口にしっかりと差し込む。

※元のバッテリーに付いていた排気

Ｌ型パイプが新しいバッテリーに合わない場合は、付属のパイプを使用してください。

②排気Ｌ型パイプを取り付けた排気口とは反対側の排気口に排気口栓が確実に装着されていることを確認してください。

バッテリーをエンジンルームに搭載する車両の場合

(AGMはエンジンルーム搭載不可)

以下の手順で実施してください。

①エンジンに近い側の排気口に排気口栓を取り付けてください。

排気口栓が逆側についている場合は、付け替えてください。

②排気口栓と反対側の排気口に付属の排気Ｌ型パイプを取り付けてください。

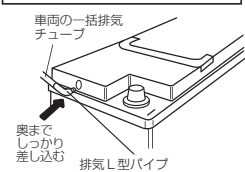
その際、パイプの先端を下向きにしてください。

※絶対に排気口を両方ともふさがないようにしてください。

バッテリー破裂の原因となります。

※排気チューブが接続されている場合は、上記「バッテリーを車室内やトランクルームに搭載する車両の場合」の手順にて一括排気チューブの取り付け、排気口栓の取り付けの作業を実施してください。

排気Ｌ型パイプの取り付け方



4. バッテリーの保守・点検方法

●液量点検・補水は不要

このバッテリーは液量点検・補水ができない構造になっています。ふた及び封口栓を外さないでください。

バッテリーの性能や寿命を著しく低下させる原因となります。

(1) 日常の点検項目

長くご愛用いただくために次のことに注意してください。

①バッテリーの清掃

水で濡らした布で清掃してください。

※ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤、洗剤、化学ぞうきんを使用しないでください。電そう、ふたの破損や液漏れの原因となることがあります。

②取付金具・ケーブルターミナルの取り付け点検

バッテリー取付金具、ケーブルターミナルにゆるみがないか確認してください。ゆるんでいる場合は、ナットを締め、確実に固定してください。

③排気口を排気チューブ、または排気口栓以外のものでふさいだり排気チューブを折ったりしないでください。内部で生じたガスの排出ができなくなり、液漏れ、バッテリー破裂の原因となることがあります。

④排気チューブは取り付けた状態にしてください。

排気チューブが取り付けられていないと内圧上昇により生じたガスがトランクルーム内に排出され、周辺を腐敗させる原因となります。

(2) バッテリーの充電

充電器でバッテリーを充電する場合は、充電器添付の取扱説明書に従い正しい手順で行ってください。

充電時は車両よりバッテリーを取り外してください（火気厳禁）。

AGM/バッテリーは封口栓を取り外さないでください（液漏れや火災、引火爆発、失明、やけどの原因となります）。

インジケータがある場合、インジケータの表示が「要交換」のものは充電しないでください。

液量不足により爆発の原因となることがあります。

※インジケータの有無については、P11「7.要項表」を参照ください。表示の見方については、P10「6.インジケータ」を参照ください。

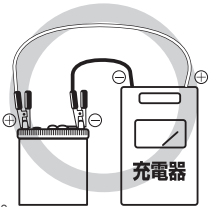
※充電電流の設定はP11「7.要項表」の普通充電電流としてください。通電中にクリップを外すなどスパークの出る行為は厳禁です（爆発注意）。

※充電完了の確認は充電器の取扱説明書を参考にしてください。

※充電時間の目安は、普通充電電流で放電程度により5～15時間です。充電完了は放電程度により異なります。充電電圧が14.5V程度に達すれば充電を終了してください。

※充電されないなどのご不明な点がある場合はご購入店または弊社にご相談ください。

※急速充電は絶対にしないでください。



5. バッテリーがあがったときには

エンジンがかからない場合やシステムが起動しないなどの場合には、車両の取扱説明書に従って対処ください。また、ご不明な点はご購入店または弊社にご相談ください。

(1) 充電器による充電

P8「4-(2).バッテリーの充電」を参照ください。

(2) ブースターケーブルによるエンジン始動／システム起動

◆車両取扱説明書に従い正しい手順で行ってください。

(ブーストする場合にエンジンルーム内の専用端子を使用する場合があります。車両の取扱説明書にしたがって、ブースターケーブルを正しくご使用ください。)

6. インジケータ

インジケータの表示により液量と充電状態（バッテリー液比重）をチェックできます。

インジケータは、代表として特定セルの状態を示しています。他のセルの状態を確認することはできないため、バッテリー状態のあくまで「目安」としてください。

インジケータの見方と必要な処置



■ 緑色 ■ 黒色 □ 白色

良 好： バッテリー液比重および液量ともに良好です。そのままご使用いただけます。

要充電： バッテリー液比重が低下しています。P8「4-(2).バッテリーの充電」の項を参照の上、補充電をしてください。良好状態に戻らない場合は交換をおすすめします。

要交換： バッテリー液量が不足しています。バッテリーを交換してください。

※インジケータの有無については、P11「7.要項表」を参照ください。

7. 要項表

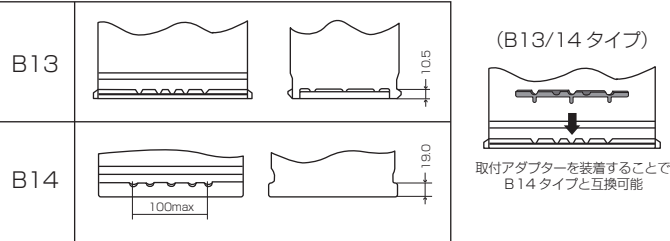
GYX シリーズ 型式	最大外形寸法 (mm) 長さ×幅×高さ	20 時間率 容量 (Ah)	普通充電 電流 (A)	下部形状 (下図参照)	インジ ケータ	用途	アイドリング ストップ車 対応	
GYX-LN2-EFB-EU	242×175×190	60	4.0	B13/B14	あり	エンジン 始動用	○	
GYX-LN3-EFB-EU	278×175×190	70						
GYX-LBN4-EFB-EU	315×175×175	75						
GYX-LN5-EFB-EU	353×175×190	95	5.0		なし	エンジン 始動用／ ハイブリッド 車補機用		
GYX-LN2-AGM-EU	242×175×190	60	4.0					
GYX-LN3-AGM-EU	278×175×190	70						
GYX-LN4-AGM-EU	315×175×190	80	5.0					
GYX-LN5-AGM-EU	353×175×190	92						

※EFB・AGMは互換不可となります。

※端子位置はすべてＬタイプです。

※排気Ｌ型パイプ、排気口栓、取付アダプターは全型式に添付されています。

●下部形状(高さ違い)の模式図



※B13/B14 タイプの下部形状は B13 タイプと同じです。

添付の取付アダプターを装着することで B14 タイプと互換可能になります。

「故障かな？」と思ったら…。(よくあるご質問、お問合せ)

①エンジンがかからない。／システムが起動しない。

→放電している可能性がありますので充電をお願いします。P8「4-(2).バッテリーの充電」の項を参考にしてください。

注：放電はバッテリーの不具合、故障ではありませんが充電をしてもエンジンがかからない場合もしくはシステム起動しない場合はご購入店までご相談ください(補償書を提示してください)。

②車両を長期間使用しない間に、バッテリーがあがってしまった。

→バッテリーを車両に搭載すると時計、コンピューターのメモリーなどの消費電流（暗電流）が常時流れ、車両によっては1ヶ月くらいでバッテリーあがりが発生します。

充電していただき、点検で正常であれば補償交換対象となりません。

③充電してもインジケータが良好を示さない。

→充電後、バッテリー液の濃度が均等になるまで、一時的に正常を示さないことがあります。

電圧、比重などが正常であればしばらくご使用いただくと正常になります。

充電していただき、点検で正常であれば補償交換対象となりません。

④エンジン始動／システム起動はできるがバッテリーテスターで「要注意」と表示される。

→一時的に放電気味状態の場合、バッテリーテスターの判定で「要注意」などになる場合があります。

充電していただき、点検で正常であれば補償交換対象となりません。

⑤アイドリングストップ機能がはたらかない（アイドリングストップしない）。

→バッテリーが放電ぎみであったり寿命に近づいてくるとアイドリングストップしなくなる場合があります。バッテリーの点検及び車両の点検を受けていただきますようお願いいたします。（補償適用外）

<ご相談窓口>

株式会社 GSユアサ

(お客様相談室) 0120-431-211 (フリーダイヤル)

受付：月～金（年末年始、休日など除く）

9：00～12：00、13：00～17：00

※バッテリーの故障や寿命の判断など、ご相談内容によってはご購入店（通信販売、ネット販売等含む）とご相談いただく場合があります。

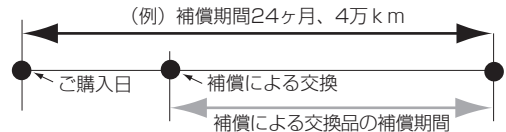
補 償 条 件

本製品は厳密な品質管理と検査の上、お届けしておりますが、万が一ご購入後、補償期間内に正常なご使用状態で不具合が生じた場合は、ご購入店（通信販売、ネット販売等含む）で点検・調査の上、下記の条件により補償させていただきます。

1.補償内容

下記の「補償の対象」「補償期間」に従って、無償で「新品」と交換させていただきます。また、バッテリー交換以外の責はご容赦願います。

尚、補償適用により新品交換した場合、補償期間は当初ご購入いただいた時点からの補償期間が適用されます。



2.補償の対象（国内使用品に限る）

製造上あるいは材料上の不具合により使用不能となったもの（充電で回復する単なる放電状態は適用外ですのでご了承ください）。

3.補償期間

補償期間はご購入日より起算した使用期間、または累計走行距離のいずれか早く到達した時とします（ご購入いただいた製品の補償期間について裏面の補償書をご確認ください）。

4.適用除外

補償期間内であっても下記の場合、補償は適用されません。

①補償書がない場合。または、必要事項が記入されていない場合

②単なるバッテリーあがりなど、充電により回復するもの（但し充電により回復した場合の充電代は有料となる場合があります）。

③以下の用途に使われた場合

- 欧州車のエンジン始動、またはハイブリッド車の補機用以外の目的（機器の電源など）で使用された場合
- タクシー、ハイヤー、宅配車など運輸業に使用された場合
- 教習車、緊急車両などの特殊用途自動車や、農業機械、建設機械に使用された場合
- 本バッテリーが適合しない車両に使用された場合

④天災、地災、火災、海難、動乱などによるバッテリーの破損ならびに故障

⑤使用上の酷使、手入れ不十分、過失または事故によって生じた故障と認められるもの

たとえば、(ア) 電そう、あるいはふたの変形、破損したもの

(イ) 電装品などの故障、欠陥により生じた事故

(ウ) ご購入後保管期間中、放電したまま放置した場合

(エ) 逆接続充電されたもの

(オ) 交通事故による破損・故障・機能低下の場合

(カ) バッテリーを修理・改造した場合

(キ) 過負荷となるアクセサリーを使用した場合

(ク) レースなどのスポーツ用途で使用された場合

(ケ) 車両搭載のままご使用にならずコンピューターメモリー負荷

(暗電流) により放電した場合

(コ) ご購入後、保管中の自己放電によるもの

(サ) 雨水や洗車時の水の浸入により液あふれが生じた場合

⑥自動車自体の原因による場合

たとえば、レギュレーターの設定電圧が基準枠を越えて過充電となった場合

⑦補償書記載以外の車両に載せ替えた場合

⑧バッテリーの搭載位置、車両懸架緩衝装置、充電装置などに改造が加えられた車両で使用された場合

⑨不具合の車両がチェックできない場合

⑩所有者が変更となった場合

注意：ご購入店（通信販売、ネット販売等含む）以外での補償はできませんのでご注意ください。